

# 小林天心先生のご退職にあたって

To Commemorate Professor KOBAYASHI, Tenshin Retirement

原 仁司\*

HARA, Hitoshi

---

---

小林天心先生は、平成27（2015）年3月31日をもって、亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科を、定年でご退職されます。本学科設立以来、6年間の長きにわたり専任教授としてご尽力をくださったこと、心より御礼申し上げます。

小林先生は、昭和43（1968）年3月に同志社大学文学部社会学科（新聞学専攻）をご卒業された後、株式会社プレイガイドツアーに就職しておられます。平成2（1990）年に常務取締役マーケティング部長を、平成5（1993）年には常務取締役営業本部長を務められ、平成10（1998）年2月にはニュージーランド政府観光局の日本支局長に就任されました（平成17（2005）年8月に退局）。その後、首都大学東京および北海道大学大学院観光創造専攻で非常勤講師を務められ、平成21（2009）年4月に本学本学科に教授として就任されました。

社会活動としては、平成10年3月にNPO法人日本エコツーリズム協会の理事を務められ（現在に至る）、平成14（2002）年4月から平成16

\*本学経営学部長

（2004）年3月までは同協会の事務局長を務められました。さらに国土交通省独立行政法人評価委員会の委員を平成17年7月から平成20（2008）年6月まで務めておられ、また、19（2007）年4月から現在までは、東京都小笠原観光プロデューサーを務められて、広く環境問題への関心を寄せておられます。

小林先生の研究人生はいつから始まったのでしょうか。おそらく正式な意味での研究人生は15年ほどではないかと思います。その間も、観光局の仕事や自らが経営する株式会社観光進化研究所の仕事や兼ねながら、単著6冊、共著6冊の仕事を残しておられます。非常にご立派かと思量いたします。昨今では、大学に着任してのち一冊の本も書かない研究者が増えていると聞きますが、われわれ後進の研究者はぜひ見習うべきかと思えます。（この他にも数多くの共著、編著がありますが、業績書には記してありませんでした。）

文章の上手いかたは、それだけで大学の財産です。私の企画した教育プログラム「インタビュー実践！」においても、小林先生は非常に懇切に学

生たちを指導され、添削もそのツボを良く心得ておられることが伝わってきました。実際、小林先生に鍛えられた学生たちのインタビュー記事はとても読みやすく、明解なものが多かったように憶えています。ジェネラルで、かつ明解な文章力を培うことのできる教員は、なかなか大学という場には居ませんことを、国語の教員である私は良く知っています。そして、いま大学では、そのような文章指導のできる教員が、もっともっと多かるべきであると私は感じています。

小林先生のゼミは「天心ゼミ」と呼ばれ、その名の通り天真（心）爛漫なゼミだったようです。

一度、その授業風景を拝観したいと思いつつ、今日までかなえられませんでした。まだ10日近く授業日が残って居ますので、あるいは近くその榮に浴することが出来るやも知れません。

春風や碁盤の上の置き手紙——井月

小林天心先生、6年間、まことに有り難うございました。これからの先生のますますのご活躍とご健勝を、心より祈念申し上げます。

（平成27年1月吉日）